

令和6年三重県議会定例会
予算決算常任委員会
防災県土整備企業分科会
説明資料

1 所管事項

(1) 債権処理計画（令和5年度実績・令和6年度目標）について（関係分）・・・資料1

2 議案補充説明

(1) 認定第5号

「令和5年度 三重県一般会計歳入歳出決算」（関係分）

(2) 認定第16号

「令和5年度 三重県港湾整備事業特別会計歳入歳出決算」

}
} ... 資料2

令和6年10月31日

県 土 整 備 部

債権処理計画（令和5年度実績・令和6年度目標）について

令和6年10月
県土整備部

債権処理計画（令和5年度実績）について（県土整備部所管分）

1 令和5年度の処理状況

令和4年度末 収入未済額	令和5年度 目 標	令和5年度 実 績	令和5年度 の取組状況及び成果
90,413,604 円 373 件	9,221,990 円 118 件	2,824,701 円 103 件	
	【回収】 8,439,206 円 104 件	【回収】 2,041,917 円 89 件	<p>【回収】 債務者の分納誓約に基づく分割収納、債務者への催告などを行った結果、個々の債権別では目標を達成したものもありましたが、部全体の回収実績額は目標額に届きませんでした。</p> <p>（実績の主なもの）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○県営住宅使用料〔私債権〕 677,159 円／ 35 件 ○損害賠償金（県営住宅）〔私債権〕 432,064 円／ 1 件 ○道路損傷復旧費用〔強制徴収公債権〕 418,884 円／ 3 件
	【整理】 782,784 円 14 件	【整理】 782,784 円 14 件	<p>【整理】 消滅時効の完成、執行停止要件に該当、債務者の破産により納付義務が消滅した債権について不納欠損処理しました。</p> <p>（実績）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○道路損傷復旧費用〔強制徴収公債権〕 764,484 円／ 2 件 ○県営住宅駐車場使用料〔私債権〕 18,300 円／ 12 件

様式(実績2)

令和5年度 債権処理計画(実績・総括票)

1 部局長等名	県土整備部長
2 取りまとめ担当課名	県土整備財務課

滞納債権の現状

3 令和5年度実績

債権の性格	種別	A 令和4年度実績	B 当初(令和4年度末)	C 令和5年度目標(5年度発生分を除く。)			D 実績(令和5年度末)(5年度発生分を除く。)					E 5年度発生分期末残高	F 令和5年度末B-D+E	主な債権
		処理額	未済額	処理額	回収率・整理率		処理額	回収率・整理率			目標達成率	金額	金額	
		処理件数	未済件数	処理件数	全体比C/B(%)	前年比C/A(%)	処理件数	全体比D/B(%)	前年比D/A(%)	D/C(%)	件数	件数		
3-1 強制徴収公債権	回収対象	678,187 円 26 件		7,237,562 円 30 件	回収率	1,067.2	829,094 円 25 件	回収率	122.3	11.5			道路損傷復旧費用弁償金	
	整理対象	216,505 円 3 件		764,484 円 2 件	整理率	353.1	764,484 円 2 件	整理率	353.1	100.0				
	計	894,692 円 29 件	79,260,851 円 51 件	8,002,046 円 32 件	回収率 62.7	894.4 110.3	1,593,578 円 27 件	回収率 52.9	178.1 93.1	19.9 84.4	156,495 円 11 件	77,823,768 円 35 件		
3-2 非強制徴収公債権	回収対象	0 円 0 件		0 円 0 件	回収率		0 円 0 件	回収率					県営住宅目的外使用料	
	整理対象	0 円 0 件		0 円 0 件	整理率		0 円 0 件	整理率						
	計	0 円 0 件	47,320 円 6 件	0 円 0 件	回収率 0.0		0 円 0 件	回収率 0.0			0 円 0 件	47,320 円 6 件		
3-3 私債権	回収対象	2,721,847 円 149 件		1,201,644 円 74 件	回収率	44.1	1,212,823 円 64 件	回収率	44.6	100.9			県営住宅使用料 損害賠償金(県営住宅)	
	整理対象	482,680 円 22 件		18,300 円 12 件	整理率	3.8	18,300 円 12 件	整理率	3.8	100.0				
	計	3,204,527 円 171 件	11,105,433 円 316 件	1,219,944 円 86 件	回収率 27.2	38.1 50.3	1,231,123 円 76 件	回収率 24.1	38.4 44.4	100.9 88.4	1,667,787 円 117 件	11,542,097 円 357 件		
合計	回収対象	3,400,034 円 175 件		8,439,206 円 104 件	回収率	248.2	2,041,917 円 89 件	回収率	60.1	24.2				
	整理対象	699,185 円 25 件		782,784 円 14 件	整理率	112.0	782,784 円 14 件	整理率	112.0	100.0				
	計	4,099,219 円 200 件	90,413,604 円 373 件	9,221,990 円 118 件	回収率 31.6	225.0 59.0	2,824,701 円 103 件	回収率 27.6	68.9 51.5	30.6 87.3	1,824,282 円 128 件	89,413,185 円 398 件		

様式(実績1)

令和5年度 債権処理計画(実績・個票)

1 債権名	道路敷使用料
2 債権の性格	強制徴収公債権
3 債権の概要	道路法第32条の許可による県管理道路の占用料
4 滞納となった要因等	債務者の生活困窮及び債務者との連絡が困難な状態であるため。
5 部局長等名	県土整備部長
6 所管課等名	道路管理課

7 取組方針	債務者に対し電話・文書・訪問による催告を粘り強く行い、納付を促していく。
8 取組成果	債務者に対し電話・文書・訪問による催告を粘り強く行い、一部は納付された。

滞納債権の現状

9 令和5年度実績

債権の性格	種別	A 令和4年度実績		B 当初(令和4年度末)		C 令和5年度目標(5年度発生分を除く。)				D 実績(令和5年度末)(5年度発生分を除く。)				E 5年度発生分期末残高	F 令和5年度末B-D+E
		処理額	未済額	処理額	未済額	処理額	回収率・整理率	処理額	回収率・整理率	目標達成率	金額	金額			
		処理件数	未済件数	処理件数	未済件数	全体比C/B(%)	前年比C/A(%)	処理件数	全体比D/B(%)	前年比D/A(%)	D/C(%)	件数	件数		
9-1 強制徴収公債権	回収対象	3,190 円		114,500 円	回収率	3,589.3	113,850 円	回収率	3,569.0	99.4					
		1 件		3 件	回収率	300.0	2 件	回収率	200.0	66.7					
	整理対象	0 円		0 円	整理率		0 円	整理率							
		0 件		0 件	整理率		0 件	整理率							
	計	3,190 円	114,500 円	114,500 円	処理率	100.0	3,589.3	113,850 円	処理率	99.4	3,569.0	99.4	160 円	810 円	
		1 件	3 件	3 件	処理率	100.0	300.0	2 件	処理率	66.7	200.0	66.7	1 件	2 件	

様式(実績1)

令和5年度 債権処理計画(実績・個票)

1 債権名	道路損傷復旧費用
2 債権の性格	強制徴収公債権
3 債権の概要	道路法第58条による損傷した道路施設の修理費用の弁償
4 滞納となった要因等	債務者の生活困窮等
5 部局長等名	県土整備部長
6 所管課等名	道路管理課

7 取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・債務者に対し電話・文書・訪問による催告を粘り強く行い、納付を促していく。 ・市町照会や財産調査を実施する。 ・処分可能な財産があれば、適切に手続きを進める。
8 取組成果	<ul style="list-style-type: none"> ・債務者に対し電話・文書・訪問による催告を粘り強く行い、一部は納付された。 ・財産調査や行方不明者の住所調査を実施した。 ・整理対象目標とした債権(2件)は、不納欠損処分とした。

滞納債権の現状

9 令和5年度実績

債権の性格	種別	A 令和4年度実績	B 当初(令和4年度末)	C 令和5年度目標(5年度発生分を除く。)			D 実績(令和5年度末)(5年度発生分を除く。)					E 5年度発生分期末残高	F 令和5年度末B-D+E	
		処理額	未済額	処理額	回収率・整理率		処理額	回収率・整理率		目標達成率	金額	金額		
		処理件数	未済件数	処理件数	全体比C/B(%)	前年比C/A(%)	処理件数	全体比D/B(%)	前年比D/A(%)	D/C(%)	件数	件数		
強制徴収公債権	回収対象	332,318 円		2,781,760 円	回収率	837.1	418,884 円	回収率	126.0	15.1				
		2 件		13 件	回収率	650	3 件	回収率	150.0	23.1				
	整理対象	206,250 円		764,484 円	整理率	370.7	764,484 円	整理率	370.7	100.0				
		1 件		2 件	整理率	200.0	2 件	整理率	200.0	100.0				
	計	538,568 円	9,150,280 円	3,546,244 円	処理率	38.8	658.5	1,183,368 円	処理率	12.9	219.7	33.4	106,009 円	8,072,921 円
		3 件	23 件	15 件	処理率	65.2	500.0	5 件	処理率	21.7	166.7	33.3	1 件	19 件

様式(実績1)

令和5年度 債権処理計画(実績・個票)

1 債権名	河川使用料
2 債権の性格	強制徴収公債権
3 債権の概要	河川法第24条の許可による土地占用料
4 滞納となった要因等	債務者の破産手続開始のため
5 部局長等名	県土整備部長
6 所管課等名	河川課

7 取組方針	債務者が破産手続を行っており、手続きの進捗に沿って破産債権の届出等、所要の措置を行い、債権の回収に努める。
8 取組成果	破産手続きが継続しているため、債権の回収には至らなかった。

滞納債権の現状

9 令和5年度実績

債権の性格	種別	A 令和4年度実績		B 当初(令和4年度末)		C 令和5年度目標(5年度発生分を除く。)			D 実績(令和5年度末)(5年度発生分を除く。)				E 5年度発生分 期末残高	F 令和5年度末 B-D+E
		処理額	未済額	処理額	未済額	処理額	回収率・整理率	処理額	回収率・整理率	目標達成率	金額	金額		
		処理件数	未済件数	処理件数	未済件数	全体比 C/B(%)	前年比 C/A(%)	処理件数	全体比 D/B(%)	前年比 D/A(%)	D/C(%)	件数	件数	
強制徴収公債権	回収対象	84,580 円		2,580 円	回収率		3.1	0 円	回収率		0.0	0.0		
		21 件		1 件	回収率		4.8	0 件	回収率		0.0	0.0		
	整理対象	10,255 円		0 円	整理率		0.0	0 円	整理率		0.0			
		2 件		0 件	整理率		0.0	0 件	整理率		0.0			
	計	94,835 円	2,580 円	2,580 円	処理率	100.0	2.7	0 円	処理率	0.0	0.0	0.0	3,454 円	6,034 円
		23 件	1 件	1 件	処理率	100.0	4.3	0 件	処理率	0.0	0.0	0.0	3 件	4 件

様式(実績1)

令和5年度 債権処理計画(実績・個票)

1 債権名	延滞金(河川使用料)
2 債権の性格	強制徴収公債権
3 債権の概要	河川法第24条の許可による土地占用料の納付遅延による
4 滞納となった要因等	債務者の生活困窮
5 部局長等名	県土整備部長
6 所管課等名	河川課

7 取組方針	債務者に対して、電話、文書、訪問による催告を粘り強く行い、納付を促していく。
8 取組成果	債務者に対して、電話、文書、訪問による催告を粘り強く行った結果、全額を回収できた。

滞納債権の現状

9 令和5年度実績

債権の性格	種別	A 令和4年度実績		B 当初(令和4年度末)		C 令和5年度目標(5年度発生分を除く。)				D 実績(令和5年度末)(5年度発生分を除く。)				E 5年度発生分期末残高	F 令和5年度末B-D+E	
		処理額		未済額		処理額		回収率・整理率		処理額		回収率・整理率		目標達成率	金額	金額
		処理件数		未済件数		処理件数		全体比C/B(%)	前年比C/A(%)	処理件数		全体比D/B(%)	前年比D/A(%)	D/C(%)	件数	件数
9-1 強制徴収公債権	回収対象	9,948 円		61,985 円	回収率		623.1	110,485 円	回収率		1,110.6	178.2				
		1 件		10 件	回収率		1,000.0	20 件	回収率		2,000.0	200.0				
	整理対象	0 円		0 円	整理率			0 円	整理率							
		0 件		0 件	整理率			0 件	整理率							
	計	9,948 円	110,485 円	61,985 円	処理率	56.1	623.1	110,485 円	処理率	100.0	1,110.6	178.2	0 円	0 円		
		1 件	20 件	10 件	処理率	50.0	1,000.0	20 件	処理率	100.0	2,000.0	200.0	0 件	0 件		

様式(実績1)

令和5年度 債権処理計画(実績・個票)

1 債権名	弁償金
2 債権の性格	強制徴収公債権
3 債権の概要	河川法第67条の規定による原因者負担金
4 滞納となった要因等	債務者の生活困窮
5 部局長等名	県土整備部長
6 所管課等名	河川課

7 取組方針	債務者に対して、電話、文書、訪問による催告を粘り強く行い、納付を促していく。それでも納付に応じない場合は、調査等で判明した財産の滞納処分を行う。
8 取組成果	債務者に対して、電話、文書、訪問による催告を粘り強く行うとともに、財産調査等を進めた結果、少額ながらも判明した預金差押を実施した。

滞納債権の現状

9 令和5年度実績

債権の性格	種別	A 令和4年度実績		B 当初(令和4年度末)		C 令和5年度目標(5年度発生分を除く。)				D 実績(令和5年度末)(5年度発生分を除く。)			E 5年度発生分期末残高	F 令和5年度末B-D+E
		処理額	未済額	処理額	未済額	処理額	回収率・整理率	処理額	回収率・整理率	目標達成率	金額	金額		
		処理件数	未済件数	処理件数	未済件数	全体比C/B(%)	前年比C/A(%)	処理件数	全体比D/B(%)	前年比D/A(%)	D/C(%)	件数	件数	
9-1 強制徴収公債権	回収対象	0円		3,951,769円	回収率			3,875円	回収率		0.1			
		0件		2件	回収率			0件	回収率		0.0			
	整理対象	0円		0円	整理率			0円	整理率					
		0件		0件	整理率			0件	整理率					
	計	0円	3,951,769円	3,951,769円	処理率	100.0		3,875円	処理率	0.1		0.1	0円	3,947,894円
		0件	2件	2件	処理率	100.0		0件	処理率	0.0		0.0	0件	2件

様式(実績1)

令和5年度 債権処理計画(実績・個票)

1 債権名	海岸使用料
2 債権の性格	強制徴収公債権
3 債権の概要	海岸法第7条第1項の規定による許可を受けた者に対し、法第11条に基づき徴収する使用料
4 滞納となった要因等	・債務者死亡 ・コンビニでの納付のため、出納閉鎖までに収納が反映されなかった。
5 部局長等名	県土整備部長
6 所管課等名	港湾・海岸課

7 取組方針	5年度発生債権のため取組方針設定なし
8 取組成果	

滞納債権の現状

9 令和5年度実績

債権の性格	種別	A 令和4年度実績		B 当初(令和4年度末)		C 令和5年度目標(5年度発生分を除く。)				D 実績(令和5年度末)(5年度発生分を除く。)				E 5年度発生分期末残高	F 令和5年度末B-D+E	
		処理額		未済額		処理額		回収率・整理率		処理額		回収率・整理率		目標達成率	金額	金額
		処理件数		未済件数		処理件数		全体比 C/B(%)	前年比 C/A(%)	処理件数		全体比 D/B(%)	前年比 D/A(%)	D/C(%)	件数	件数
9-1 強制徴収公債権	回収対象	0円		0円	回収率			0円	回収率							
		0件		0件	回収率			0件	回収率							
	整理対象	0円		0円	整理率			0円	整理率							
		0件		0件	整理率			0件	整理率							
	計	0円	0円	0円	処理率			0円	処理率					2,485円	2,485円	
		0件	0件	0件	処理率			0件	処理率					2件	2件	

様式(実績1)

令和5年度 債権処理計画(実績・個票)

1 債権名	岸壁荷揚場その他使用料
2 債権の性格	強制徴収公債権
3 債権の概要	港湾法第37条の許可による港湾区域内の水域又は公共空地の占用料
4 滞納となった要因等	代表者の死亡により事業者の運営が止まった後、新たな代表者が選出されたが、現在破産手続きを行っている。
5 部局長等名	県土整備部長
6 所管課等名	港湾・海岸課

7 取組方針	破産手続きが進められる中で、代理人からの申し出等に対して適切に対応していく。
8 取組成果	差押えを執行することにより、一部納付につながった。

滞納債権の現状

9 令和5年度実績

債権の性格	種別	A 令和4年度実績	B 当初(令和4年度末)	C 令和5年度目標(5年度発生分を除く。)			D 実績(令和5年度末)(5年度発生分を除く。)					E 5年度発生分期末残高	F 令和5年度末B-D+E	
		処理額	未済額	処理額	回収率・整理率		処理額	回収率・整理率		目標達成率	金額	金額		
		処理件数	未済件数	処理件数	全体比C/B(%)	前年比C/A(%)	処理件数	全体比D/B(%)	前年比D/A(%)	D/C(%)	件数	件数		
9-1 強制徴収公債権	回収対象	8,151 円		84,968 円	回収率	1,042.4	2,000 円	回収率	24.5	2.4				
		1 件		1 件	回収率	100.0	0 件	回収率	0.0	0.0				
	整理対象	0 円		0 円	整理率		0 円	整理率						
		0 件		0 件	整理率		0 件	整理率						
	計	8,151 円	84,968 円	84,968 円	処理率	100.0	1,042.4	2,000 円	処理率	2.4	24.5	2.4	44,387 円	127,355 円
		1 件	1 件	1 件	処理率	100.0	100.0	0 件	処理率	0.0	0.0	0.0	4 件	5 件

様式(実績1)

令和5年度 債権処理計画(実績・個票)

1 債権名	賀田港廃船撤去行政代執行費用
2 債権の性格	強制徴収公債権
3 債権の概要	行政代執行法第2条の規定により原因者に代わって実施した、行政代執行に要した費用
4 滞納となった要因等	行政代執行に要した費用が巨額であり、原因者の資力が不足しているため。
5 部局長等名	県土整備部長
6 所管課等名	港湾・海岸課

7 取組方針	財務調査、面談を通じて分納が確実になされるよう取り組んでいく。
8 取組成果	財務調査、面談を通じて債権処理計画に沿った債権回収を行った。

滞納債権の現状

9 令和5年度実績

債権の性格	種別	A 令和4年度実績		B 当初(令和4年度末)		C 令和5年度目標(5年度発生分を除く。)				D 実績(令和5年度末)(5年度発生分を除く。)				E 5年度発生分期末残高	F 令和5年度末B-D+E	
		処理額		未済額		処理額		回収率・整理率		処理額		回収率・整理率		目標達成率	金額	金額
		処理件数		未済件数		処理件数		全体比C/B(%)	前年比C/A(%)	処理件数		全体比D/B(%)	前年比D/A(%)	D/C(%)	件数	件数
9-1 強制徴収公債権	回収対象	240,000 円		240,000 円	回収率		100.0	180,000 円	回収率		75.0	75.0				
		0 件		0 件	回収率			0 件	回収率							
	整理対象	0 円		0 円	整理率			0 円	整理率							
		0 件		0 件	整理率			0 件	整理率							
	計	240,000 円	65,846,269 円	240,000 円	処理率	0.4	100.0	180,000 円	処理率	0.3	75.0	75.0	0 円	65,666,269 円		
		0 件	1 件	0 件	処理率	0.0		0 件	処理率	0.0			0 件	1 件		

様式(実績1)

令和5年度 債権処理計画(実績・個票)

1 債権名	県営住宅目的外使用料
2 債権の性格	非強制徴収公債権
3 債権の概要	解雇等により住居の退去を余儀なくされた者の三重県営住宅の目的外使用料(行政財産の目的外使用に係る使用料に関する条例第1条による)
4 滞納となった要因等	無断退去、行方不明等
5 部局長等名	県土整備部長
6 所管課等名	住宅政策課

7 取組方針	出入国調査等を行い、再入国している場合は、分納等の指導を行い、確実な履行を求めるとともに、電話、文書による催告を粘り強く行い、納付を促していく。 それでも納付に応じない場合は、法的措置を行っていく。
8 取組成果	出国により債務者と交渉することができなかった。

滞納債権の現状

9 令和5年度実績

債権の性格	種別	A 令和4年度実績		B 当初(令和4年度末)			C 令和5年度目標(5年度発生分を除く。)					D 実績(令和5年度末)(5年度発生分を除く。)			E 5年度発生分期末残高	F 令和5年度末B-D+E
		処理額	未済額	処理額	回収率	整理率	処理額	回収率	整理率	目標達成率	金額	金額				
		処理件数	未済件数	処理件数	全体比C/B(%)	前年比C/A(%)	処理件数	全体比D/B(%)	前年比D/A(%)	D/C(%)	件数	件数				
9-2 非強制徴収公債権	回収対象	0円		0円	回収率		0円	回収率								
		0件		0件	回収率		0件	回収率								
	整理対象	0円		0円	整理率		0円	整理率								
		0件		0件	整理率		0件	整理率								
	計	0円	47,320円	0円	処理率	0.0	0円	処理率	0.0			0円	47,320円			
		0件	6件	0件	処理率	0.0	0件	処理率	0.0			0件	6件			

様式(実績1)

令和5年度 債権処理計画(実績・個票)

1 債権名	県営住宅使用料
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	三重県営住宅条例第9条による入居者家賃
4 滞納となった要因等	債務者の生活困窮、行方不明等
5 部局長等名	県土整備部長
6 所管課等名	住宅政策課

7 取組方針	分納等の指導を行い、確実な履行を求めるとともに、電話、文書、訪問による催告を粘り強く行い、納付を促していく。 それでも納付に応じない場合は法的措置を行っていく。
8 取組成果	回収対象の目標額を達成できなかった。

滞納債権の現状

9 令和5年度実績

債権の性格	種別	A 令和4年度実績		B 当初(令和4年度末)		C 令和5年度目標(5年度発生分を除く。)				D 実績(令和5年度末)(5年度発生分を除く。)			E 5年度発生分期末残高	F 令和5年度末B-D+E
		処理額	未済額	処理額	未済額	処理額	回収率・整理率	処理額	回収率・整理率	目標達成率	金額	金額		
		処理件数	未済件数	処理件数	未済件数	全体比C/B(%)	前年比C/A(%)	処理件数	全体比D/B(%)	前年比D/A(%)	D/C(%)	件数	件数	
9-3 私債権	回収対象	1,856,112 円		717,344 円	回収率	38.6	677,159 円	回収率	36.5	94.4				
		81 件		33 件	回収率	40.7	35 件	回収率	43.2	106.1				
	整理対象	448,680 円		0 円	整理率	0.0	0 円	整理率	0.0					
		13 件		0 件	整理率	0.0	0 件	整理率	0.0					
	計	2,304,792 円	4,174,174 円	717,344 円	処理率	17.2	31.1	677,159 円	処理率	16.2	29.4	94.4	1,330,287 円	4,827,302 円
		94 件	170 件	33 件	処理率	19.4	35.1	35 件	処理率	20.6	37.2	106.1	55 件	190 件

様式(実績1)

令和5年度 債権処理計画(実績・個票)

1 債権名	遅延損害金(県営住宅)
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	家賃等の納付遅延に伴う遅延損害金(三重県債権の管理及び私債権の徴収に関する条例第7条による。)
4 滞納となった要因等	家賃等の未納分から納付しているため。
5 部局長等名	県土整備部長
6 所管課等名	住宅政策課

7 取組方針	分納等の指導を行い、確実な履行を求めるとともに、電話、文書、訪問による催告を粘り強く行い、納付を促していく。 それでも納付に応じない場合は法的措置を行っていく。
8 取組成果	家賃又は損害賠償金の支払を優先することとした。

滞納債権の現状

9 令和5年度実績

債権の性格	種別	A 令和4年度実績		B 当初(令和4年度末)		C 令和5年度目標(5年度発生分を除く。)			D 実績(令和5年度末)(5年度発生分を除く。)				E 5年度発生分期末残高	F 令和5年度末B-D+E
		処理額	未済額	処理額	未済額	処理額	回収率・整理率		処理額	回収率・整理率		目標達成率	金額	金額
		処理件数	未済件数	処理件数	未済件数	処理件数	全体比 C/B(%)	前年比 C/A(%)	処理件数	全体比 D/B(%)	前年比 D/A(%)	D/C(%)	件数	件数
9-3 私債権	回収対象	0円		55,000円	回収率			55,000円	回収率		100.0			
		0件		1件	回収率			1件	回収率		100.0			
	整理対象	0円		0円	整理率			0円	整理率					
		0件		0件	整理率			0件	整理率					
	計	0円	217,600円	55,000円	処理率	25.3		55,000円	処理率	25.3		100.0	0円	162,600円
		0件	11件	1件	処理率	9.1		1件	処理率	9.1		100.0	0件	10件

様式(実績1)

令和5年度 債権処理計画(実績・個票)

1 債権名	損害賠償金(県営住宅)
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	三重県営住宅条例第39条による住宅の明渡し請求を受けた者に対する損害賠償金
4 滞納となった要因等	債務者の生活困窮、行方不明等
5 部局長等名	県土整備部長
6 所管課等名	住宅政策課

7 取組方針	分納等の指導を行い、確実な履行を求めるとともに、電話、文書、訪問による催告を粘り強く行い、納付を促していく。 それでも納付に応じない場合は法的措置を行っていく。
8 取組成果	回収対象の目標額を達成できた。

滞納債権の現状

9 令和5年度実績

債権の性格	種別	A 令和4年度実績		B 当初(令和4年度末)		C 令和5年度目標(5年度発生分を除く。)			D 実績(令和5年度末)(5年度発生分を除く。)				E 5年度発生分期末残高	F 令和5年度末B-D+E
		処理額	未済額	処理額	未済額	処理額	回収率・整理率		処理額	回収率・整理率		目標達成率	金額	金額
		処理件数	未済件数	処理件数	未済件数	処理件数	全体比 C/B(%)	前年比 C/A(%)	処理件数	全体比 D/B(%)	前年比 D/A(%)	D/C(%)	件数	件数
9-3 私債権	回収対象	698,435 円		364,000 円	回収率	52.1		432,064 円	回収率	61.9	118.7			
		1 件		6 件	回収率	600.0		1 件	回収率	100.0	16.7			
	整理対象	0 円		0 円	整理率			0 円	整理率					
		0 件		0 件	整理率			0 件	整理率					
	計	698,435 円	6,311,411 円	364,000 円	処理率	5.8	52.1	432,064 円	処理率	6.8	61.9	118.7	51,200 円	5,930,547 円
		1 件	29 件	6 件	処理率	20.7	600.0	1 件	処理率	3.4	100.0	16.7	8 件	36 件

様式(実績1)

令和5年度 債権処理計画(実績・個票)

1 債権名	県営住宅駐車場使用料
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	私法上の契約に基づく県営住宅駐車場使用料
4 滞納となった要因等	債務者の生活困窮、行方不明等
5 部局長等名	県土整備部長
6 所管課等名	住宅政策課

7 取組方針	分納等の指導を行い、確実な履行を求めるとともに、電話、文書、訪問による催告を粘り強く行い、納付を促していく。 それでも納付に応じない場合は法的措置を行っていく。
8 取組成果	回収対象の目標額を達成できなかった。

滞納債権の現状

9 令和5年度実績

債権の性格	種別	A 令和4年度実績		B 当初(令和4年度末)		C 令和5年度目標(5年度発生分を除く。)				D 実績(令和5年度末)(5年度発生分を除く。)				E 5年度発生分期末残高	F 令和5年度末B-D+E	
		処理額		未済額		処理額		回収率・整理率		処理額		回収率・整理率		目標達成率	金額	金額
		処理件数		未済件数		処理件数		全体比C/B(%)	前年比C/A(%)	処理件数		全体比D/B(%)	前年比D/A(%)	D/C(%)	件数	件数
9-3 私債権	回収対象	167,300 円		65,300 円	回収率		39.0	48,600 円	回収率		29.0	74.4				
		67 件		34 件	回収率		50.7	27 件	回収率		40.3	79.4				
	整理対象	34,000 円		18,300 円	整理率		53.8	18,300 円	整理率		53.8	100.0				
		9 件		12 件	整理率		133.3	12 件	整理率		133.3	100.0				
	計	201,300 円	394,800 円	83,600 円	処理率	21.2	41.5	66,900 円	処理率	16.9	33.2	80.0	124,500 円	452,400 円		
		76 件	104 件	46 件	処理率	44.2	60.5	39 件	処理率	37.5	51.3	84.8	52 件	117 件		

様式(実績1)

令和5年度 債権処理計画(実績・個票)

1 債権名	雑入
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	①強制執行(債権差押)にかかる経費 ②県営住宅退去者負担分収入(退去時修繕負担金)
4 滞納となった要因等	①差押金額が強制執行費用を下回っていたため。 ②収納上の過誤により、現年度分収入として計上できなかったため。
5 部局長等名	県土整備部長
6 所管課等名	住宅政策課

7 取組方針	分納等の指導を行い、確実な履行を求めるとともに、電話、文書、訪問による催告を粘り強く行い、納付を促していく。 それでも納付に応じない場合は法的措置を行っていく。
8 取組成果	家賃又は損害賠償金の支払を優先することとした。

滞納債権の現状

9 令和5年度実績

債権の性格	種別	A 令和4年度実績		B 当初(令和4年度末)		C 令和5年度目標(5年度発生分を除く。)				D 実績(令和5年度末)(5年度発生分を除く。)				E 5年度発生分期末残高	F 令和5年度末B-D+E	
		処理額		未済額		処理額		回収率・整理率		処理額		回収率・整理率		目標達成率	金額	金額
		処理件数		未済件数		処理件数		全体比 C/B(%)	前年比 C/A(%)	処理件数		全体比 D/B(%)	前年比 D/A(%)	D/C(%)	件数	件数
9-3 私債権	回収対象	0円		0円	回収率				0円	回収率						
		0件		0件	回収率				0件	回収率						
	整理対象	0円		0円	整理率				0円	整理率						
		0件		0件	整理率				0件	整理率						
	計	0円	7,448円	0円	処理率	0.0			0円	処理率	0.0			161,800円	169,248円	
		0件	2件	0件	処理率	0.0			0件	処理率	0.0			2件	4件	

債権処理計画（令和6年度目標）について（県土整備部所管分）

1 令和5年度末の収入未済の状況

令和5年度末 収入未済額	主な債権の概要
89,413,185 円 398 件	<p>○賀田港廃船撤去行政代執行費用〔強制徴収公債権〕 (65,666,269 円／1 件) 行政代執行法第2条の規定により実施した賀田港の廃船撤去にかかる費用</p> <p>○道路損傷復旧費用〔強制徴収公債権〕 (8,072,921 円／19 件) 道路法第58条による損傷した道路施設の修理費用の弁償</p> <p>○損害賠償金（県営住宅）〔私債権〕 (5,930,547 円／36 件) 三重県営住宅条例第39条による住宅の明渡し請求等を受けた者に対する損害賠償金</p> <p>○県営住宅使用料〔私債権〕 (4,827,302 円／190 件) 三重県営住宅条例第9条による入居者家賃</p> <p>○弁償金〔強制徴収公債権〕 (3,947,894 円／2 件) 河川法第67条による油流出事故にかかる応急措置費用の弁償</p>

2 令和6年度債権処理目標

	2,956,601 円 /	123 件
○ 回収をめざすもの	2,851,185 円 /	117 件
○ 整理を行う見込みのもの	105,416 円 /	6 件

3 取組方針

適正な債権管理に努めます。

様式(目標2)

令和6年度 債権処理計画(目標・総括票)

1 部局長等名	県土整備部長
2 取りまとめ担当課名	県土整備財務課

滞納債権の現状

3 令和6年度目標

債権の性格	種別	A 令和5年度末	B 令和6年度 目標 (6年度発生分を除く。)			C 令和6年度当初に存在する債権にかかる令和5年度処理額 (5年度発生分を除く。)	主な債権
		未済額	処理額	回収率・整理率		処理額	
		未済件数	処理件数	全体比 B/A(%)	前年比 B/C(%)	処理件数	
3-1 強制徴収 公債権	回収		1,212,676 円	回収率	168.8	718,609 円	道路損傷復旧費用 弁償金
			15 件	回収率	300.0	5 件	
	整理		71,816 円	整理率	9.4	764,484 円	
			2 件	整理率	100.0	2 件	
計	77,823,768 円 35 件	1,284,492 円 17 件	処理率 48.6	86.6 242.9	1,483,093 円 7 件		
3-2 非強制徴収 公債権	回収		0 円	回収率		0 円	県営住宅目的外使用料
			0 件	回収率		0 件	
	整理		33,600 円	整理率		0 円	
			4 件	整理率		0 件	
計	47,320 円 6 件	33,600 円 4 件	処理率 66.7	71.0	0 円 0 件		
3-3 私債権	回収		1,638,509 円	回収率	135.1	1,212,823 円	県営住宅使用料 損害賠償金(県営住宅)
			102 件	回収率	159.4	64 件	
	整理		0 円	整理率	0.0	18,300 円	
			0 件	整理率	0.0	12 件	
計	11,542,097 円 357 件	1,638,509 円 102 件	処理率 28.6	133.1 134.2	1,231,123 円 76 件		
合計	回収		2,851,185 円	回収率	147.6	1,931,432 円	
			117 件	回収率	169.6	69 件	
	整理		105,416 円	整理率	13.5	782,784 円	
			6 件	整理率	42.9	14 件	
計	89,413,185 円 398 件	2,956,601 円 123 件	処理率 30.9	108.9 148.2	2,714,216 円 83 件		

※ 前年度に完済した債権は、現年度の債権処理計画(目標)を作成しないことから、C欄に含まれません。
完済した債権を含む前年度の債権処理実績は、別冊「債権処理計画(実績)」でまとめています。

様式(目標1)

令和6年度 債権処理計画(目標・個票)

1 債権名	道路敷使用料
2 債権の性格	強制徴収公債権
3 債権の概要	道路法第32条の許可による県管理道路の占用料
4 滞納となった要因等	債務者の生活困窮、及び債務者との連絡が困難な状態であるため。
5 部局長等名	県土整備部長
6 所管課等名	道路管理課

7 取 組 方 針	2件の未収金の内1件は、計画策定時点で既に収納済み。 残り1件は居住不明のため、R6年度に継続して住所調査、財産調査を実施し、債権回収に取り組む。
-----------------------	--

滞納債権の現状

8 令和6年度目標

債権の性格	種別	A 令和5年度末	B 令和6年度目標 (6年度発生分を除く。)			C 令和6年度当初に存在する債権にかかる令和5年度処理額 (5年度発生分を除く。)	備考	
		未済額	処理額	回収率・整理率		処理額		
		未済件数	処理件数	全体比 B/A(%)	前年比 B/C(%)	処理件数		
8-1 強制徴収 公債権	回収	810 円	810 円	回収率	0.7	113,850 円		
		2 件	2 件	回収率	100.0	2 件		
	整理	0 円	0 円	整理率		0 円		
		0 件	0 件	整理率		0 件		
	計	810 円	810 円	処理率	100.0	0.7		113,850 円
		2 件	2 件	処理率	100.0	100.0		2 件

様式(目標1)

令和6年度 債権処理計画(目標・個票)

1 債権名	道路損傷復旧費用
2 債権の性格	強制徴収公債権
3 債権の概要	道路法第58条による損傷した道路施設の修理費用の弁償
4 滞納となった要因等	債務者の生活困窮、及び債務者との連絡が困難な状態であるため。
5 部局長等名	県土整備部長
6 所管課等名	道路管理課

7 取 組 方 針	<ul style="list-style-type: none"> ・債務者に対し電話・文書・訪問による催告を粘り強く行い、納付を促していく。 ・処分可能な財産があれば、適切に手続きを進める。 ・執行停止の要件を満たすものは、整理債権として振り分け、引き続き資力回復の有無がないかを確認する。
-----------------------	--

滞納債権の現状

8 令和6年度目標

債権の性格	種別	A 令和5年度末		B 令和6年度目標 (6年度発生分を除く。)			C 令和6年度当初に存在する債権にかかる令和5年度処理額 (5年度発生分を除く。)		備考
		未済額		処理額	回収率・整理率		処理額		
		未済件数		処理件数	全体比 B/A(%)	前年比 B/C(%)	処理件数		
8-1 強制徴収 公債権	回収	/		443,178 円	回収率		105.8	418,884 円	
		/		3 件	回収率		100.0	3 件	
	整理	/		69,842 円	整理率		9.1	764,484 円	
		/		1 件	整理率		50.0	2 件	
	計	8,072,921 円		513,020 円	処理率	6.4	43.4	1,183,368 円	
		19 件		4 件	処理率	21.1	80.0	5 件	

様式(目標1)

令和6年度 債権処理計画(目標・個票)

1 債権名	河川使用料
2 債権の性格	強制徴収公債権
3 債権の概要	河川法第24条の許可による土地占用料
4 滞納となった要因等	債務者の生活困窮、ならびに債務者の組織内の事務手続き上、時間を要したため
5 部局長等名	県土整備部長
6 所管課等名	河川課

7 取 組 方 針	債務者に対して、電話、文書、訪問による催告を粘り強く行い、納付を促していく。なお、債務者が破産手続を行っている案件については、手続の進捗に沿って破産債権の届出等、所要の措置を行い、債権の回収もしくは整理を行う。
-----------------------	---

滞納債権の現状

8 令和6年度目標

債権の性格	種別	A 令和5年度末		B 令和6年度目標 (6年度発生分を除く。)			C 令和6年度当初に存在する債権にかかる令和5年度処理額 (5年度発生分を除く。)		備考
		未済額		処理額	回収率・整理率		処理額		
		未済件数		処理件数	全体比 B/A(%)	前年比 B/C(%)	処理件数		
8-1 強制徴収 公債権	回収	/		4,060 円	回収率			0 円	
		/		3 件	回収率			0 件	
	整理	/		1,974 円	整理率			0 円	
		/		1 件	整理率			0 件	
	計	6,034 円		6,034 円	処理率	100.0		0 円	
		4 件		4 件	処理率	100.0		0 件	

様式(目標1)

令和6年度 債権処理計画(目標・個票)

1 債権名	弁償金
2 債権の性格	強制徴収公債権
3 債権の概要	河川法第67条の規定による原因者負担金
4 滞納となった要因等	債務者の生活困窮
5 部局長等名	県土整備部長
6 所管課等名	河川課

7 取 組 方 針	債務者に対して、電話、文書、訪問による催告を粘り強く行い、納付を促していくとともに、財産状況を調査し、可能であれば滞納処分を実施する。
-----------------------	---

滞納債権の現状

8 令和6年度目標

債権の性格	種別	A 令和5年度末		B 令和6年度目標 (6年度発生分を除く。)			C 令和6年度当初に存在する債権にかかる令和5年度処理額 (5年度発生分を除く。)		備考	
		未済額	未済件数	処理額	処理件数	回収率・整理率		処理額		
						全体比 B/A(%)	前年比 B/C(%)	処理件数		
8-1 強制徴収 公債権	回収			394,788 円	回収率		10,188.1	3,875 円		
				0 件	回収率			0 件		
	整理			0 円	整理率			0 円		
				0 件	整理率			0 件		
	計		3,947,894 円		394,788 円	処理率	10.0	10,188.1	3,875 円	
			2 件		0 件	処理率	0.0		0 件	

様式(目標1)

令和6年度 債権処理計画(目標・個票)

1 債権名	岸壁荷揚場その他使用料
2 債権の性格	強制徴収公債権
3 債権の概要	港湾法第37条の許可による港湾区域内の水域又は公共空地の占用料
4 滞納となった要因等	・3月下旬に発生した債権のため納付が遅れた。 ・代表者の死亡により事業者の運営が止まった後、新たな代表者が選出されたが、現在破産手続きを行っている。
5 部局長等名	県土整備部長
6 所管課等名	港湾・海岸課

7 取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・4件については、計画策定時にすでに納付済み。 ・1件については、破産手続きが進められる中で、清算処理完了次第、配当金があれば充当する。
--------	---

滞納債権の現状

8 令和6年度目標

債権の性格	種別	A 令和5年度末		B 令和6年度目標 (6年度発生分を除く。)			C 令和6年度当初に存在する債権にかかる令和5年度処理額 (5年度発生分を除く。)		備考		
		未済額	未済件数	処理額	処理件数	回収率・整理率		処理額			
						全体比 B/A(%)	前年比 B/C(%)	処理件数			
8-1 強制徴収公債権	回収			127,355 円	5 件	回収率		6,367.8	2,000 円		
						回収率			0 件		
	整理			0 円	0 件	整理率			0 円		
						整理率			0 件		
	計		127,355 円		127,355 円	5 件	処理率	100.0	6,367.8	2,000 円	
				5 件		5 件	処理率	100.0		0 件	

様式(目標1)

令和6年度 債権処理計画(目標・個票)

1 債権名	賀田港廃船撤去行政代執行費用
2 債権の性格	強制徴収公債権
3 債権の概要	行政代執行法第2条の規定により原因者に代わって実施した、行政代執行に要した費用
4 滞納となった要因等	行政代執行に要した費用が巨額であり、原因者の資力が不足しているため。
5 部局長等名	県土整備部長
6 所管課等名	港湾・海岸課

7 取 組 方 針	財務調査、面談を通じて分納が確実にされるよう取り組んでいく。
-----------------------	--------------------------------

滞納債権の現状

8 令和6年度目標

債権の性格	種別	A 令和5年度末		B 令和6年度目標 (6年度発生分を除く。)			C 令和6年度当初に存在する債権にかかる令和5年度処理額 (5年度発生分を除く。)		備考	
		未済額	未済件数	処理額	回収率・整理率	処理額	処理件数			
					全体比 B/A(%)	前年比 B/C(%)				
8-1 強制徴収 公債権	回収			240,000 円	回収率		133.3	180,000 円		
				0 件	回収率			0 件		
	整理			0 円	整理率			0 円		
				0 件	整理率			0 件		
	計		65,666,269 円		240,000 円	処理率	0.4	133.3	180,000 円	
				1 件	0 件	処理率	0.0		0 件	

様式(目標1)

令和6年度 債権処理計画(目標・個票)

1 債権名	県営住宅目的外使用料
2 債権の性格	非強制徴収公債権
3 債権の概要	解雇等により住居の退去を余儀なくされた者の三重県営住宅の目的外使用料(行政財産の目的外使用に係る使用料に関する条例第1条による)
4 滞納となった要因等	無断退去、行方不明等
5 部局長等名	県土整備部長
6 所管課等名	住宅政策課

7 取 組 方 針	出入国調査等を行い、再入国している場合は、分納等の指導を行い、確実な履行を求めるとともに、電話、文書による催告を粘り強く行い、納付を促していく。 それでも納付に応じない場合は、法的措置を行っていく。
-----------------------	--

滞納債権の現状

8 令和6年度目標

債権の性格	種別	A 令和5年度末	B 令和6年度 目 標 (6年度発生分を除く。)			C 令和6年度当初に存在する債権にかかる令和5年度処理額 (5年度発生分を除く。)	備考	
		未済額	処理額	回収率・整理率		処理額		
		未済件数	処理件数	全体比 B/A(%)	前年比 B/C(%)	処理件数		
8-2 非強制徴収 公債権	回収		0 円	回収率		0 円		
			0 件	回収率		0 件		
	整理		33,600 円	整理率		0 円		
			4 件	整理率		0 件		
	計		47,320 円	33,600 円	処理率	71.0		0 円
			6 件	4 件	処理率	66.7		0 件

様式(目標1)

令和6年度 債権処理計画(目標・個票)

1 債権名	県営住宅使用料
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	三重県営住宅条例第9条による入居者家賃
4 滞納となった要因等	債務者の生活困窮、行方不明等
5 部局長等名	県土整備部長
6 所管課等名	住宅政策課

7 取 組 方 針	分納等の指導を行い、確実な履行を求めるとともに、電話、文書、訪問による催告を粘り強く行い、納付を促していく。 それでも納付に応じない場合は法的措置を行っていく。
-----------------------	---

滞納債権の現状

8 令和6年度目標

債権の性格	種別	A 令和5年度末	B 令和6年度目標 (6年度発生分を除く。)			C 令和6年度当初に存在する債権にかかる令和5年度処理額 (5年度発生分を除く。)	備考	
		未済額	処理額	回収率・整理率		処理額		
		未済件数	処理件数	全体比 B/A(%)	前年比 B/C(%)	処理件数		
8-3 私債権	回収		972,000 円	回収率		143.5	677,159 円	
			44 件	回収率		125.7	35 件	
	整理		0 円	整理率			0 円	
			0 件	整理率			0 件	
	計		4,827,302 円	972,000 円	処理率	20.1	143.5	677,159 円
			190 件	44 件	処理率	23.2	125.7	35 件

様式(目標1)

令和6年度 債権処理計画(目標・個票)

1 債権名	遅延損害金(県営住宅)
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	家賃等の納付遅延に伴う遅延損害金(三重県債権の管理及び私債権の徴収に関する条例第7条による。)
4 滞納となった要因等	家賃等の未納分から納付しているため。
5 部局長等名	県土整備部長
6 所管課等名	住宅政策課

7 取組方針	分納等の指導を行い、確実な履行を求めるとともに、電話、文書、訪問による催告を粘り強く行い、納付を促していく。 それでも納付に応じない場合は法的措置を行っていく。
--------	---

滞納債権の現状

8 令和6年度目標

債権の性格	種別	A 令和5年度末	B 令和6年度目標 (6年度発生分を除く。)			C 令和6年度当初に存在する債権にかかる令和5年度処理額 (5年度発生分を除く。)	備考	
		未済額	処理額	回収率・整理率		処理額		
		未済件数	処理件数	全体比 B/A(%)	前年比 B/C(%)	処理件数		
8-3 私債権	回収		0 円	回収率		0.0	55,000 円	
			0 件	回収率		0.0	1 件	
	整理		0 円	整理率			0 円	
			0 件	整理率			0 件	
	計		162,600 円	0 円	処理率	0.0	0.0	55,000 円
			10 件	0 件	処理率	0.0	0.0	1 件

様式(目標1)

令和6年度 債権処理計画(目標・個票)

1 債権名	損害賠償金(県営住宅)
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	三重県営住宅条例第39条による住宅の明渡し請求等を受けた者に対する損害賠償金
4 滞納となった要因等	債務者の生活困窮、行方不明等
5 部局長等名	県土整備部長
6 所管課等名	住宅政策課

7 取 組 方 針	分納等の指導を行い、確実な履行を求めるとともに、電話、文書、訪問による催告を粘り強く行い、納付を促していく。 それでも納付に応じない場合は法的措置を行っていく。
-----------------------	---

滞納債権の現状

8 令和6年度目標

債権の性格	種別	A 令和5年度末		B 令和6年度目標 (6年度発生分を除く。)			C 令和6年度当初に存在する債権にかかる令和5年度処理額 (5年度発生分を除く。)		備考	
		未済額	未済件数	処理額	処理件数	回収率・整理率		処理額		
						全体比 B/A(%)	前年比 B/C(%)	処理件数		
8-3 私債権	回収			394,809 円	回収率		91.4	432,064 円		
				3 件	回収率		300.0	1 件		
	整理			0 円	整理率			0 円		
				0 件	整理率			0 件		
	計		5,930,547 円		394,809 円	処理率	6.7	91.4	432,064 円	
			36 件		3 件	処理率	8.3	300.0	1 件	

様式(目標1)

令和6年度 債権処理計画(目標・個票)

1 債権名	雑入
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	①強制執行(債権差押)にかかる経費 ②県営住宅退去者負担分収入(退去時修繕負担金)
4 滞納となった要因等	①差押金額が強制執行費用を下回っていたため。 ②収納上の過誤により、現年度分収入として計上できなかったため。
5 部局長等名	県土整備部長
6 所管課等名	住宅政策課

7 取 組 方 針	①分納等の指導を行い、確実な履行を求めるとともに、電話、文書、訪問による催告を粘り強く行い、納付を促していく。それでも納付に応じない場合は法的措置を行っていく。 ②計画策定時点で収納済み。
-----------------------	---

滞納債権の現状

8 令和6年度目標

債権の性格	種別	A 令和5年度末		B 令和6年度目標 (6年度発生分を除く。)			C 令和6年度当初に存在する債権にかかる令和5年度処理額 (5年度発生分を除く。)		備考	
		未済額		処理額		回収率・整理率		処理額		
		未済件数		処理件数		全体比 B/A(%)	前年比 B/C(%)	処理件数		
8-3 私債権	回収	/		161,800 円	回収率			0 円		
		/		2 件	回収率			0 件		
	整理	/		0 円	整理率			0 円		
		/		0 件	整理率			0 件		
	計	169,248 円		161,800 円	処理率	95.6		0 円		
		4 件		2 件	処理率	50.0		0 件		

令和 5 年 度

歳 入 歳 出 決 算 補 充 説 明

令和 6 年 1 0 月

県 土 整 備 部

県土整備部の所管する令和5年度歳入歳出決算につきまして、お手元の「令和5年度三重県歳入歳出決算に関する説明書」に基づき、ご説明申し上げます。

【一般会計の歳入の状況】

5 まず、一般会計の歳入ですが、県土整備部関係といたしましては、

予算現額	1,286億4,156万7,869円
調定額	1,078億1,522万7,183円
収入済額	1,077億2,511万4,182円
不納欠損額	78万2,784円

10 収入未済額 8,933万217円

となっています。

それでは、歳入決算の詳細について順次ご説明申し上げます。

まず、第7款「分担金及び負担金」のうち、県土整備部関係は、42頁、第2項「負

15 担金」第5目「土木費負担金」ですが、

予算現額	14億1,006万5,112円
調定額	11億3,942万2,380円
収入済額	11億3,931万6,371円
収入未済額	10万6,009円

20 となっています。

これは、主に公共土木施設の新設、改良、維持等に伴う受益市町等の負担金です。

収入済額の主なものは、次のとおりです。

科 目	収入済額
宮川堰堤管理費負担金	3億2,999万5,586円
道路管理費負担金	3億1,636万2,323円
急傾斜地崩壊対策費地元負担金	1億2,002万8,250円

また、収入未済額は、道路管理費負担金です。

なお、予算現額と収入済額との差額 2億7,074万8,741円は、事業の一部を繰り越したことに伴い、翌年度収入となるもの等です。

次に、第8款「使用料及び手数料」のうち、県土整備部関係は、まず、46頁、第15項「使用料」第1目「総務使用料」の一部ですが、これは、建物の一部を使用させることによる建物使用料収入で、収入済額は16万7,562円となっています。

次に、48頁、第7目「土木使用料」ですが、

	予算現額	16億7,645万5,000円
10	調定額	16億6,579万3,006円
	収入済額	16億6,428万7,733円
	収入未済額	150万5,273円

となっています。

これは、県営住宅の家賃や、道路敷、河川等の占用許可に伴う使用料等です。

15 収入済額の主なものは、次のとおりです。

科 目	収入済額
道路敷使用料	5億9,011万7,348円
公営住宅使用料	5億6,490万4,834円
水利使用料	2億8,415万7,269円

また、収入未済額の主なものは、公営住宅使用料です。

次に、62頁、第2項「手数料」第7目「土木手数料」ですが、

	予算現額	2億2,297万8,000円
20	調定額	2億2,694万5,410円
	収入済額	2億2,694万5,410円

となっています。

これは、建設業許可等に伴う手数料です。

収入済額の主なものは、次のとおりです。

科 目	収入済額
建設業許可等手数料	1億 2,655万 890円
屋外広告物許可手数料	3,500万 6,840円
宅地建物取引業免許及び登録手数料	2,194万 3,000円

次に、第9款「国庫支出金」のうち、県土整備部関係は、まず、74頁、第1項「国庫負担金」第7目「土木費負担金」ですが、

5	予算現額	224億 9,611万 4,625円
	調定額	125億 9,178万 1,599円
	収入済額	125億 9,178万 1,599円

となっています。

これは、公共土木施設の新設、改良等に伴う国庫負担金です。

10 収入済額の主なものは、次のとおりです。

科 目	収入済額
道路橋りょう新設改良費負担金	43億 5,976万 1,185円
防災・安全交付金	37億 6,930万 8,272円
道路橋りょう維持費負担金	22億 5,576万 7,043円
治水ダム建設事業費負担金	9億 5,441万 699円
河川メンテナンス事業費負担金	3億 4,620万 3,000円
海岸メンテナンス（海岸）事業費負担金	3億 816万 9,350円
海岸メンテナンス（港湾）事業費負担金	1億 5,300万 2,050円
砂防メンテナンス事業費負担金	1億 3,817万 3,000円
海岸保全費負担金	1億 2,438万 2,000円
港湾建設費負担金	1億 908万 6,000円

なお、予算現額と収入済額との差額 99億 433万 3,026円 は、事業の一部を繰り越したことに伴い、翌年度収入となるもの等です。

次に、78 頁、第9 目「災害復旧費負担金」のうち、「災害土木復旧費負担金」ですが、

予算現額	39 億 4,214 万 8,000 円
調定額	25 億 3,979 万 9,000 円
5 収入済額	25 億 3,979 万 9,000 円

となっています。

これは、公共土木施設災害の復旧事業に伴う国庫負担金です。

なお、予算現額と収入済額との差額 14 億 234 万 9,000 円 は、事業の一部を繰り越したことに伴い、翌年度収入となるもの等です。

10

次に、102 頁、第2 項「国庫補助金」第8 目「土木費補助金」ですが、

予算現額	101 億 8,810 万 9,928 円
調定額	65 億 5,341 万 3,013 円
収入済額	65 億 5,341 万 3,013 円

15 となっています。

これは、防災・安全交付金等の国庫補助金です。

収入済額の主なものは、次のとおりです。

科 目	収入済額
防災・安全交付金	29 億 1,013 万 7,256 円
社会資本整備総合交付金	22 億 2,674 万 664 円
砂防事業費補助金	4 億 7,830 万 4,100 円
河川事業費補助金	3 億 7,134 万 1,300 円
無電柱化推進事業費補助	3 億 655 万 8,120 円
都市公園事業費補助	2 億 2,105 万 5,500 円

なお、予算現額と収入済額との差額 36 億 3,469 万 6,915 円 は、事業の一部を繰り越したことに伴い、翌年度収入となるもの等です。

20

次に、116 頁、**第3項「委託金」**第7目「土木費委託金」ですが、

予算現額	382 万	円
調定額	361 万 4,400	円
収入済額	361 万 4,400	円

5 となっています。

これは、国の統計、調査事業の委託金です。

次に、**第10款「財産収入」**のうち、県土整備部関係は、まず、120 頁、**第1項「財産運用収入」**第1目「財産貸付収入」の一部ですが、これは、都市公園における自動
10 販売機の設置に係る地所の貸付け等に伴うもので、収入済額は 249 万 6,621 円 となっています。

次に、第2目「利子及び配当金」の一部ですが、これは、基金の利子収入で、収入済額は 4 万 2,715 円 となっています。

15

次に、**第2項「財産売払収入」**第1目「不動産売払収入」の一部ですが、これは、
廃道廃川敷の土地売払収入で、収入済額は 1,651 万 3,973 円 となっています。

次に、第2目「物品売払収入」の一部ですが、これは、不要となった公用車の売払
20 収入で、収入済額は 46 万 3,160 円 となっています。

次に、122 頁、第3目「生産物売払収入」のうち、「河川海岸道路等生産物その他売
払収入」ですが、

25	予算現額	5,579 万 7,000	円
	調定額	5,914 万 8,000	円
	収入済額	5,914 万 8,000	円

となっています。

収入済額の主なものは、河川の砂利の売払収入です。

次に、第12款「繰入金」のうち、県土整備部関係は、128頁、第2項「基金繰入金」

- 5 第1目「基金繰入金」の一部ですが、これは、財政調整基金等からの繰入金で、収入済額は1億2,212万55円となっています。

次に、第13款「繰越金」のうち、県土整備部関係は、130頁、第1項「繰越金」第

- 10 1目「繰越金」の一部ですが、これは、前年度からの事業の繰越しに伴う繰越金で、収入済額は160億6,334万9,401円となっています。

次に、第14款「諸収入」のうち、県土整備部関係は、まず、132頁、第1項「延滞金、加算金及び過料等」第1目「延滞金」の一部ですが、

	予算現額	0円
15	調定額	8万1,287円
	収入済額	8万1,287円

となっています。

収入済額の主なものは、道路損傷復旧費用の原因者負担金に係る延滞金です。

- 20 次に、第2項「県預金利子」第1目「県預金利子」の一部ですが、これは、県営住宅の敷金に係る預金利子で、収入済額は42万8,100円となっています。

次に、第3項「公営企業貸付金元利収入」第2目「流域下水道事業会計貸付金元利収入」ですが、

	予算現額	20億	2万7,000円
	調定額	20億	4万9,370円
5	収入済額	20億	4万9,370円

となっています。

これは、流域下水道事業会計の資金不足に対応するため貸し付けた資金の返済金です。

10 次に、134頁、第4項「貸付金元利収入」第13目「土地開発公社貸付金元利収入」ですが、

	予算現額	30億円
	調定額	30億円
	収入済額	30億円

15 となっています。

これは、用地取得を推進するために、先行取得資金として三重県土地開発公社に貸し付けた資金の返済金です。

次に、140頁、第5項「受託事業収入」第7目「土木関係受託事業収入」ですが、

20	予算現額	12億3,157万3,803円
	調定額	6億1,101万2,798円
	収入済額	6億1,101万2,798円

となっています。

これは、公共事業に関連して、県内市町等の事業を受託したことによるものです。

25 なお、予算現額と収入済額との差額6億2,056万1,005円は、事業の一部を繰り越したことに伴い、翌年度収入となるもの等です。

次に、142 頁、第 6 項「収益事業収入」第 1 目「宝くじ収入」の一部ですが、収入
済額は 2 億円 となっています。

5 次に、第 8 項「雑入」第 2 目「雑入」の一部ですが、

予算現額 3 億 7,996 万 円

調定額 3 億 4,951 万 8,622 円

収入済額 3 億 4,935 万 6,822 円

収入未済額 16 万 1,800 円

10 となっています。

収入済額の主なものは、土木工事設計積算システムの運用に係る市町からの利用料
収入です。

なお、収入未済額は、県営住宅修繕に係る退去者負担分収入です。

15 次に、146 頁、第 3 目「過年度収入」の一部ですが、

予算現額 393 万 7,000 円

調定額 9,032 万 7,636 円

収入済額 203 万 8,917 円

不納欠損額 78 万 2,784 円

20 収入未済額 8,750 万 5,935 円

となっています。

収入済額の主なものは、公営住宅使用料です。

収入未済額の主なものは、賀田港廃船撤去行政代執行費用に係る弁償金です。

不納欠損額の主なものは、道路損傷復旧費用の原因者負担金です。

次に、第5目「弁償金」の一部ですが、

	予算現額	0円
	調定額	69万 650円
	収入済額	63万 9,450円
5	収入未済額	5万 1,200円

となっています。

収入済額は、交通事故の示談金です。

また、収入未済額は、県営住宅の損害賠償金です。

10 次に、第6目「違約金及び延納利息」の一部ですが、

	予算現額	0円
	調定額	3,104万 8,425円
	収入済額	3,104万 8,425円

となっています。

15 収入済額の主なものは、受注者の資金調達困難による契約解除に伴う違約金です。

次に、第15款「県債」のうち、県土整備部関係は、まず、160頁、第1項「県債」第7目「土木債」ですが、

	予算現額	604億 3,300万円
20	調定額	574億 5,300万円
	収入済額	574億 5,300万円

となっています。

これは、公共土木施設の新設、改良等の事業に充当したものです。

収入済額の主なものは、次のとおりです。

25

科	目	収入済額
	公共土木施設維持管理費充当	129億 8,800万円
	直轄道路事業負担金充当	128億 9,900万円
	直轄河川事業負担金充当	40億 4,000万円
	国補道路メンテナンス費充当	39億 1,000万円
	道路整備交付金事業費充当	36億 5,400万円
	県単河川局部改良費充当	34億 9,900万円
	国補道路改築費充当	26億 4,100万円
	地方道路整備（改築）事業費充当	16億 1,300万円
	砂防整備交付金事業費充当	14億 8,300万円
	河川整備交付金事業費充当	12億 9,900万円

なお、予算現額と収入済額との差額 29億 8,000万円 は、事業の一部を繰り越したことに伴い、翌年度収入となるもの等です。

次に、170頁、第11目「災害復旧債」の一部ですが、

5	予算現額	51億 8,800万円
	調定額	30億 9,400万円
	収入済額	30億 9,400万円

となっています。

これは、公共土木施設災害の復旧事業に充当したものです。

10 収入済額の主なものは、次のとおりです。

科	目	収入済額
	令和4年県単災害土木復旧費充当	7億 1,200万円
	令和3年災害土木復旧費充当	6億 700万円
	令和5年災害土木復旧費充当	5億 6,300万円

なお、予算現額と収入済額との差額 20億 9,400万円 は、事業の一部を繰り越したことに伴い、翌年度収入となるもの等です。

以上、一般会計の歳入決算の概要についてご説明申し上げました。引き続き、一般

15 会計の歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

【一般会計の歳出の状況（土木費）】

まず、一般会計のうち、土木費の歳出決算についてご説明申し上げます。

396 頁、第8款「土木費」のうち、県土整備部関係は、

5	予算現額	1,349 億 5,284 万 4,704 円
	支出済額	980 億 6,214 万 6,441 円
	翌年度繰越額 繰越明許費	364 億 337 万 1,493 円
	事故繰越	1 億 2,087 万 400 円
	不用額	3 億 6,645 万 6,370 円
10	となっています。	

それでは、土木費の歳出決算の詳細について順次ご説明申し上げます。

まず、第1項「土木管理費」です。

15

第1目「土木総務費」は、

	予算現額	295 億 7,658 万 1,955 円
	支出済額	247 億 6,390 万 4,503 円
	翌年度繰越額 繰越明許費	46 億 1,524 万 4,611 円
20	不用額	1 億 9,743 万 2,841 円

となっています。

支出済額の主なものは、次のとおりです。

25

事業目名	支出済額	概 要
公共土木施設維持管理費	148 億 3,646 万 2,422 円	公共土木施設の維持管理経費 (県単)
管理費	64 億 341 万 6,025 円	事業費支弁以外の職員の人件費 及び県土整備部の共通経費
公共事業用地先行取得資金 貸付金	30 億 円	公共事業に係る用地先行取得資金 の三重県土地開発公社への貸付金
公共用地取得対策費	2 億 6,347 万 5,000 円	用地取得業務に係る三重県土地開 発公社への委託料
検査管理事務費	1 億 2,608 万 7,065 円	工事検査に要する経費

なお、翌年度繰越しは、

公共土木施設維持管理費 45 億 8,841 万 5,219 円

等です。

これらは、用地交渉及び補償処理の難航、施工計画の調整等に不測の日時を要した

5 ことにより、繰り越したものです。

また、不用額の主なものは、公共土木施設維持管理費の執行残です。

次に、398 頁、第 2 目「建設業指導監督費」は、

	予算現額	7,376 万 1,000 円
10	支出済額	7,078 万 8,065 円
	不用額	297 万 2,935 円

となっています。

支出済額は、建設業法に基づく許可等に要した経費です。

なお、不用額は、建設業指導監督費の執行残です。

15

次に、400 頁、第 3 目「建築指導費」は、

予算現額	8,700 万 5,000 円
支出済額	6,328 万 9,238 円
翌年度繰越額 繰越明許費	2,100 万 円
5 不用額	271 万 5,762 円

となっています。

支出済額の主なものは、次のとおりです。

事業目名	支出済額	概要
建築基準法施行費	4,714 万 7,156 円	建築基準法に基づく事務及び建築物の耐震化等に要する経費
開発管理費	1,103 万 1,358 円	開発行為等に関する許可及び盛土規制法に基づく基礎調査(規制区域)に要する経費
宅地建物取引業法施行費	457 万 4,724 円	宅地建物取引業法に基づく免許、登録等に要する経費

なお、翌年度繰越しは、

開発管理費	2,100 万 円
-------	-----------

10 です。

これは、計画の調整に不測の日時を要したことにより、繰り越したものです。

また、不用額の主なものは、建築基準法施行費の執行残です。

次に、第 2 項「道路橋りよう費」です。

15

まず、第 1 目「道路橋りよう総務費」は、

予算現額	3 億 4,054 万 6,503 円
支出済額	2 億 3,454 万 7,308 円
翌年度繰越額 繰越明許費	7,502 万 7,434 円
20 不用額	3,097 万 1,761 円

となっています。

支出済額の主なものは、次のとおりです。

事業目名	支出済額	概要
道路施設管理費	1億 3,671万 3,239円	道路照明等に要する経費
高速道路関連施設整備対策事業費	3,537万 4,000円	高速道路に関連した施設等の整備に係る経費（県単）
国補道路交通調査費	2,550万 9,756円	幹線道路網の整備計画策定に係る調査費

なお、翌年度繰越しは、

高速道路関連施設整備対策事業費 3,042万 3,000円

等です。

- 5 これらは、施工計画の調整に不測の日時を要したことにより、繰り越したものです。また、不用額の主なものは、道路施設管理費の執行残です。

次に、402頁、第2目「道路橋りよう維持費」は、

	予算現額	108億 8,298万 9,000円
10	支出済額	69億 6,318万 2,268円
	翌年度繰越額 繰越明許費	38億 9,268万 4,040円
	不用額	2,712万 2,692円

となっています。

支出済額の主なものは、次のとおりです。

15

20

事業目名	支出済額	概要
国補道路メンテナンス費(道路維持)	28億 9,332万 9,060円	老朽化する道路施設の修繕等を行う事業
道路維持交付金事業費	14億 153万 5,100円	道路施設の修繕や災害防除施設・交通安全施設の整備等を行う事業(国補)
土木施設パトロール費	8億 4,340万 5,308円	維持管理業務に従事する土木施設パトロール員の人件費等
国補土砂災害対策費(道路維持)	5億 8,945万 1,000円	砂防事業と連携して土砂災害対策を行う事業
県単道路交通安全対策費	4億 4,405万 2,800円	交通安全施設の整備等を行う事業
国補通学路緊急対策交通安全対策事業費(道路維持)	4億 1,838万 6,000円	千葉県八街市の事故を受けて実施した通学路合同点検の結果に基づき交通安全対策を行う事業
国補地区内連携交通安全対策事業費(道路維持)	2億 1,731万 6,000円	速度低下、進入抑制等を促す面的対策や歩道の設置等を行う事業
踏切道改良計画事業費(道路維持)	1億 4,072万 1,000円	踏切道路改良促進法に基づき改良すべき踏切道に指定された踏切道の対策を行う事業(国補)

なお、翌年度繰越しは、

国補道路メンテナンス費(道路維持)	26億 4,141万 5,940円
道路維持交付金事業費	6億 1,710万 6,900円
国補土砂災害対策費(道路維持)	2億 7,342万 4,000円
5 県単道路交通安全対策費	1億 9,517万 3,200円
国補通学路緊急対策交通安全対策事業費(道路維持)	1億 4,950万 7,000円

等です。

これらは、用地交渉及び補償処理の難航、施工計画の調整等に不測の日時を要したことにより、繰り越したものです。

10 また、不用額の主なものは、踏切道改良計画事業費(道路維持)の執行残です。

次に、404 頁、第3目「道路橋りょう新設改良費」は、

予算現額	480 億 1,478 万 1,038 円
支出済額	333 億 2,849 万 5,580 円
翌年度繰越額 繰越明許費	146 億 6,210 万 8,593 円
5 不用額	2,417 万 6,865 円

となっています。

支出済額の主なものは、次のとおりです。

事業目名	支出済額	概要
直轄道路事業負担金	140 億 2,157 万 8,974 円	国土交通省が施工する道路事業に対する負担金
道路整備交付金事業費	73 億 7,233 万 5,500 円	広域道路ネットワークにおける課題に対応した道路整備等を行う事業（国補）
国補道路メンテナンス費（道路整備）	40 億 6,628 万 8,000 円	緊急輸送道路等の橋梁耐震補強を行う事業
国補道路改築費	36 億 6,844 万 2,000 円	幹線道路の拡幅やバイパス等の整備を行う事業
地方道路整備（改築）事業費	28 億 6,679 万 8,235 円	地域の課題に対応した幹線道路網等の整備を行う事業（県単）
国補土砂災害対策費（道路整備）	6 億 9,086 万 円	砂防事業と連携して土砂災害対策を行う事業
県単道路改築費	6 億 3,098 万 8,871 円	地域の課題に対応した道路整備を行う事業

なお、翌年度繰越しは、

道路整備交付金事業費	45 億 5,295 万 9,500 円
10 国補道路改築費	42 億 4,379 万 2,000 円
国補道路メンテナンス費（道路整備）	26 億 5,410 万 1,000 円
地方道路整備（改築）事業費	18 億 9,354 万 2,000 円
国補土砂災害対策費（道路整備）	7 億 3,538 万 2,000 円
県単道路改築費	5 億 7,139 万 6,093 円

15 等です。

これらは、用地交渉及び補償処理の難航、施工計画の調整等に不測の日時を要した

ことにより、繰り越したものです。

また、不用額の主なものは、県単道路改築費の執行残です。

次に、406 頁、第3項「河川海岸費」です。

5

まず、第1目「河川総務費」は、

予算現額	45億 8,576万 7,000円
支出済額	27億 5,953万 7,400円
翌年度繰越額 繰越明許費	18億 2,341万 3,000円
10 不用額	281万 6,600円

となっています。

支出済額の主なものは、次のとおりです。

事業目名	支出済額	概要
治水ダム建設事業費	19億 6,576万 4,000円	鳥羽河内ダムを建設するための事業(国補)
宮川堰堤維持費	2億 3,142万 6,000円	宮川ダムの維持修繕費(県単)
君ヶ野堰堤維持費	1億 3,525万 1,000円	君ヶ野ダムの維持修繕費(県単)
宮川堰堤管理費	1億 518万 347円	宮川ダムの維持管理に係る経費

なお、翌年度繰越しは、

治水ダム建設事業費 14億 2,380万 円

15 等です。

これらは、用地交渉の難航、施工計画の調整等に不測の日時を要したことにより、繰り越したものです。

また、不用額の主なものは、河川海岸管理事業費の執行残です。

20

次に、410 頁、第2目「河川改良費」は、

予算現額	155 億 4,627 万 6,000 円
支出済額	113 億 2,784 万 2,775 円
翌年度繰越額 繰越明許費	42 億 944 万 2,100 円
5 不用額	899 万 1,125 円

となっています。

支出済額は、次のとおりです。

事業目名	支出済額	概要
直轄河川事業負担金	42 億 9,490 万 75 円	国土交通省等が施工する河川改修、ダム建設事業等に対する負担金
県単河川局部改良費	28 億 2,198 万 6,500 円	護岸改修等の小規模な河川局部改良事業
河川整備交付金事業費	26 億 9,272 万 9,000 円	一級河川の指定区間及び二級河川の改修事業（国補）
大規模特定河川事業費	7 億 7,428 万 7,000 円	一級河川の指定区間及び二級河川の防災対策事業（国補）
国補河川メンテナンス事業費	7 億 4,394 万 200 円	排水機場、水門等、河川管理施設の老朽化対策事業

なお、翌年度繰越しは、

河川整備交付金事業費	19 億 5,886 万 4,000 円
10 県単河川局部改良費	12 億 6,969 万 6,000 円
大規模特定河川事業費	8 億 1,974 万 7,000 円
国補河川メンテナンス事業費	1 億 6,113 万 5,100 円

です。

これらは、用地交渉及び補償処理の難航、施工計画の調整等に不測の日時を要した
 15 ことにより、繰り越したものです。

また、不用額の主なものは、国補河川メンテナンス事業費の執行残です。

次に、412 頁、第3目「砂防費」は、

予算現額	81 億 287 万 2,700 円
支出済額	50 億 7,264 万 4,162 円
翌年度繰越額 繰越明許費	29 億 534 万 2,000 円
5 事故繰越	1 億 2,087 万 400 円
不用額	401 万 6,138 円

となっています。

支出済額の主なものは、次のとおりです。

事業目名	支出済額	概 要
砂防整備交付金事業費	32 億 4,660 万 9,300 円	土砂災害防止施設の整備や土砂災害警戒区域等の指定に向けた基礎調査を行う事業（国補）
国補通常砂防事業費	10 億 1,011 万 5,000 円	土石流対策のための堰堤設置工事や溪流保全工事を行う通常砂防事業
国補砂防メンテナンス事業費	2 億 9,263 万 8,000 円	砂防関係施設の老朽化対策事業
直轄砂防事業負担金	2 億 300 万 194 円	国土交通省が施工する砂防事業に対する負担金
県単通常砂防費	1 億 4,800 万 円	国補事業の対象とならない堰堤等の工事を行う砂防事業
県単急傾斜地崩壊対策費	1 億 3,816 万 円	国補事業の対象とならない小規模な急傾斜地崩壊対策事業

なお、翌年度繰越しは、

10 砂防整備交付金事業費	19 億 6,904 万 8,400 円
国補通常砂防事業費	5 億 9,266 万 3,000 円
国補砂防メンテナンス事業費	2 億 1,992 万 9,000 円
県単通常砂防費	1 億 1,773 万 円
県単急傾斜地崩壊対策費	1 億 250 万 2,000 円

15 等です。

これらは、用地交渉及び補償処理の難航、施工計画の調整等に不測の日時を要したことにより、繰り越したものです。

また、不用額の主なものは、県単急傾斜地崩壊対策費の執行残です。

次に、414 頁、第 4 目「海岸保全費」は、

	予算現額	46 億 4,214 万 3,000 円
5	支出済額	26 億 6,026 万 8,000 円
	翌年度繰越額 繰越明許費	19 億 5,483 万 2,000 円
	不用額	2,704 万 3,000 円

となっています。

支出済額の主なものは、次のとおりです。

事業目名	支出済額	概要
海岸高潮対策（海岸）費	11 億 3,614 万 4,000 円	高潮等による被害を未然に防止するための事業（国補）
国補海岸メンテナンス（海岸）事業費	6 億 5,529 万 2,000 円	海岸保全施設（海岸）の老朽化対策を行う事業
県単海岸局部改良費	4 億 1,233 万 7,000 円	海岸保全施設の機能向上を図る事業
海岸保全施設整備連携事業（海岸）費	2 億 2,318 万 8,000 円	他事業と連携して施設の建設改良等を行う事業（国補）
井田海岸緊急保全事業費	1 億 6,500 万 円	井田地区海岸に侵食対策の養浜工を施工する事業（県単）

10 なお、翌年度繰越しは、

海岸高潮対策（海岸）費	8 億 2,876 万 6,000 円
国補海岸メンテナンス（海岸）事業費	5 億 2,086 万 5,000 円
県単海岸局部改良費	2 億 8,488 万 7,000 円
海岸保全施設整備連携事業（海岸）費	2 億 5,641 万 4,000 円

15 等です。

これらは、施工計画の調整に不測の日時を要したことにより、繰り越したものです。

また、不用額の主なものは、国補海岸災害関連事業費の執行残です。

次に、416 頁、第5目「水防費」は、

予算現額	28 万 3,000 円
支出済額	28 万 2,997 円
不用額	3 円

5 となっています。

支出済額は、水防計画の作成等に要した経費です。

次に、第4項「港湾費」です。

10 まず、第1目「港湾管理費」は、

予算現額	8,722 万 1,000 円
支出済額	5,014 万 2,706 円
翌年度繰越額 繰越明許費	3,273 万 2,500 円
不用額	434 万 5,794 円

15 となっています。

支出済額の主なものは、次のとおりです。

事業目名	支出済額	概要
港湾管理費	3,416 万 4,086 円	港湾施設の管理費用
港湾調査費	1,295 万 4,000 円	港湾施設の調査・設計に要する経費
港湾統計調査費	171 万 1,120 円	港湾の開発利用及び管理に関する調査費

なお、翌年度繰越しは、

カーボンニュートラルポート形成計画策定事業費 1,768 万 6,500 円

等です。

20 これらは、施工計画の調整に不測の日時を要したことにより、繰り越したものです。

また、不用額の主なものは、港湾管理費の執行残です。

次に、第2目「港湾建設費」は、

予算現額	38億 8,970万	円
支出済額	24億 5,304万 9,945	円
翌年度繰越額 繰越明許費	14億 3,021万 2,600	円
5 不用額	643万 7,455	円

となっています。

支出済額の主なものは、次のとおりです。

事業目名	支出済額	概要
海岸高潮対策（港湾）費	5億 4,518万 5,000円	高潮等による被害を未然に防止するための事業（国補）
国補港湾改修費	5億 608万 3,000円	重要港湾及び地方港湾施設の建設改良等を行う港湾改修事業
海岸侵食対策（港湾）費	4億 4,995万 6,000円	海岸の侵食を防止する事業（国補）
県単港湾改修費	4億 4万 3,000円	重要港湾及び地方港湾施設の建設改良等を行う港湾改修事業
国補海岸メンテナンス（港湾）事業費	3億 3,400万 円	海岸保全施設（港湾）の老朽化対策等を行う事業
国補港湾メンテナンス事業費	1億 1,253万 5,400円	港湾施設の老朽化対策等を行う事業

なお、翌年度繰越しは、

国補海岸メンテナンス（港湾）事業費	4億 3,754万 9,000円
10 海岸高潮対策（港湾）費	4億 3,292万 8,000円
海岸侵食対策（港湾）費	1億 7,858万 円
国補港湾改修費	1億 4,522万 円
県単港湾改修費	1億 1,836万 5,000円
国補港湾メンテナンス事業費	1億 1,757万 600円

15 です。

これらは、施工計画の調整に不測の日時を要したことにより、繰り越したものです。

また、不用額の主なものは、国補港湾災害関連事業費の執行残です。

次に、418 頁、第 3 目「港湾諸費」のうち、県土整備部関係は、

予算現額 6,137 万 3,000 円

支出済額 6,137 万 3,000 円

5 となっています。

支出済額は、港湾整備事業特別会計への繰出金です。

次に、第 5 項「都市計画費」です。

10 まず、420 頁、第 1 目「都市計画総務費」は、

予算現額 9,434 万 2,600 円

支出済額 8,297 万 6,120 円

翌年度繰越額 繰越明許費 884 万 4,000 円

不用額 252 万 2,480 円

15 となっています。

支出済額の主なものは、次のとおりです。

事業目名	支出済額	概要
都市計画策定事業費	7,426 万 2,514 円	土地利用や都市施設の計画決定を行う事業
市町村都市計画事業指導監督費	363 万 9,000 円	市町事業の指導監督に要する費用
民間活力導入推進事業費	294 万 3,000 円	民間活力の導入推進に必要な検討や事務手続きを行う事業

なお、翌年度繰越しは、

基本都市計画策定事業費 884 万 4,000 円

です。

20 これは、計画の調整に不測の日時を要したことにより、繰り越したものです。

また、不用額の主なものは、美しい景観づくり推進事業費の執行残です。

次に、第2目「土地区画整理費」は、

5	予算現額	4万 4,000 円
	支出済額	4万 2,715 円
	不用額	1,285 円

となっています。

支出済額は、三重県都市計画土地区画整理事業清算基金利子収入の積立に要した経費です。

10 次に、第3目「街路事業費」は、

予算現額	19億 5,361万 2,000 円
支出済額	14億 4,861万 1,378 円
翌年度繰越額 繰越明許費	5億 192万 4,286 円
不用額	307万 6,336 円

15 となっています。

支出済額の主なものは、次のとおりです。

事業目名	支出済額	概要
街路整備交付金事業費	8億 660万 7,000 円	市街地内の都市計画道路を整備する事業（国補）
国補街路事業費	5億 8,757万 6,794 円	市街地内の都市計画道路を整備する事業
県単街路事業費	3,043万 5,000 円	市街地内の都市計画道路を整備する事業

なお、翌年度繰越しは、

国補街路事業費	2億 5,287万 9,600 円
街路整備交付金事業費	1億 6,628万 5,000 円

20 等です。

これらは、用地交渉及び補償処理の難航、施工計画の調整等に不測の日時を要した

ことにより、繰り越したものです。

また、不用額の主なものは、国補街路事業費の執行残です。

次に、422 頁、第4目「公園費」は、

5	予算現額	13億 6,462万 9,908円
	支出済額	11億 4,028万 9,378円
	翌年度繰越額 繰越明許費	2億 2,433万 9,329円
	不用額	1,201円

となっています。

10 支出済額の主なものは、次のとおりです。

事業目名	支出済額	概要
国補公園事業費	5億 3,252万 4,000円	県営都市公園の整備事業
県単公園維持管理費	2億 7,360万 979円	県営都市公園の維持管理事業
都市公園安全対策事業費	2億 558万 5,600円	県営都市公園施設の修繕・更新事業（国補）
都市公園等一体整備促進事業費	1億 1,913万 6,000円	県営都市公園の整備事業（県単）

なお、翌年度繰越しは、

都市公園安全対策事業費 1億 4,724万 6,400円

等です。

これらは、施工計画の調整等に不測の日時を要したことにより、繰り越したもので

15 す。

次に、424 頁、第5目「下水道事業費」は、

	予算現額	46億 1,995万 9,000円
	支出済額	46億 595万 9,000円
20	翌年度繰越額 繰越明許費	1,400万 円

となっています。

支出済額の主なものは、次のとおりです。

事業目名	支出済額	概 要
流域下水道事業費	45 億 3,830 万 8,000 円	流域下水道事業会計への負担金等
下水道事業諸費	3,048 万 6,000 円	市町の下水道事業を促進するための補助金
流域下水道事業計画策定費	2,600 万 円	下水道法第2条の2に基づく流域別下水道整備総合計画等の策定費

なお、翌年度繰越しは、

流域下水道事業計画策定費 1,400 万 円

5 です。

これは、施工計画の調整に不測の日時を要したことにより、繰り越したものです。

次に、426 頁、第6項「住宅費」です。

10 まず、第1目「住宅管理費」は、

予算現額 7 億 5,089 万 円

支出済額 7 億 3,801 万 8,693 円

翌年度繰越額 繰越明許費 12 万 5,000 円

不用額 1,274 万 6,307 円

15 となっています。

支出済額の主なものは、次のとおりです。

事業目名	支出済額	概 要
公営住宅管理費	6 億 3,865 万 563 円	県営住宅の維持管理費
住まい安心支援事業費	8,658 万 4,130 円	住まいの耐震化を推進するための事業等
住環境整備事業費	921 万 6,000 円	市町が実施する住環境整備事業に対する補助金

なお、翌年度繰越しは、

住まい安心支援事業費 12万 5,000円

です。

これは、計画の調整に不測の日時を要したことにより、繰り越したものです。

5 また、不用額の主なものは、公営住宅管理費の執行残です。

次に、428頁、第2目「住宅建設費」は、

予算現額 2億 7,806万 7,000円

支出済額 2億 3,690万 1,210円

10 翌年度繰越額 繰越明許費 3,210万 円

不用額 906万 5,790円

となっています。

支出済額は、県営住宅の高齢者仕様への住戸改善及び長寿命化型改善工事等を行ったものです。

15 なお、翌年度繰越しは、

公営住宅建設費 3,210万 円

です。

これは、施工計画の調整に不測の日時を要したことにより、繰り越したものです。

また、不用額は、公営住宅建設費の執行残です。

20

【一般会計の歳出の状況（災害復旧費）】

次に、一般会計のうち、災害復旧費の歳出決算についてご説明申し上げます。

第11款「災害復旧費」のうち、県土整備部関係として、478頁、第2項「土木施設災害復旧費」は、

予算現額	93億4,740万165円
支出済額	57億6,054万6,331円
翌年度繰越額 繰越明許費	31億2,154万149円
不用額	4億6,531万3,685円

10 となっています。

まず、第5目「市町村災害土木復旧指導監督費」は、

予算現額	1,017万9,000円
支出済額	1,017万9,000円

15 となっています。

支出済額は、市町施工の災害復旧事業に対する指導監督に要した経費です。

次に、480頁、第42目「平成31年災害土木復旧費」は、

20 予算現額	3億7,080万8,000円
支出済額	1億6,431万4,000円
不用額	2億649万4,000円

となっています。

支出済額は、公共土木施設の災害復旧事業に要した経費です。

なお、不用額は、事業の精算によるものです。

25

次に、第46目「令和3年災害土木復旧費」は、

予算現額	28億 6,581万 8,000円
支出済額	18億 5,268万 505円
翌年度繰越額 繰越明許費	10億 130万 5,000円
5 不用額	1,183万 2,495円

となっています。

支出済額は、公共土木施設の災害復旧事業に要した経費です。

なお、翌年度繰越しは、公共土木施設の復旧にあたり、施工計画の調整等に不測の日時を要したことにより、繰り越したものです。

10 また、不用額は、事業の精算によるものです。

次に、482頁、第47目「令和3年県単災害土木復旧費」は、

予算現額	6億 4,720万 8,238円
支出済額	5億 570万 3,036円
15 不用額	1億 4,150万 5,202円

となっています。

支出済額は、県単事業として実施する公共土木施設の小規模な災害復旧に要した経費です。

なお、不用額は、事業の精算によるものです。

20

次に、第48目「令和4年災害土木復旧費」は、

予算現額	8億 7,236万 6,000円
支出済額	8億 5,098万 5,653円
不用額	2,138万 347円

25 となっています。

支出済額は、公共土木施設の災害復旧事業に要した経費です。

なお、不用額は、事業の精算によるものです。

次に、484 頁、第 49 目「令和 4 年県単災害土木復旧費」は、

	予算現額	16 億 690 万 8,927 円
5	支出済額	7 億 1,361 万 3,951 円
	翌年度繰越額 繰越明許費	8 億 5,919 万 6,000 円
	不用額	3,409 万 8,976 円

となっています。

支出済額は、県単事業として実施する公共土木施設の小規模な災害復旧に要した
10 経費です。

なお、翌年度繰越しは、公共土木施設の復旧にあたり、施工計画の調整等に不測の日時を要したことにより、繰り越したものです。

また、不用額は、事業の精算によるものです。

15 次に、第 50 目「令和 5 年災害土木復旧費」は、

	予算現額	25 億 5,721 万 円
	支出済額	15 億 4,493 万 3,389 円
	翌年度繰越額 繰越明許費	10 億 1,227 万 4,477 円
	不用額	2,134 円

20 となっています。

支出済額は、公共土木施設の災害復旧事業に要した経費です。

なお、翌年度繰越しは、公共土木施設の復旧にあたり、用地交渉の難航、施工計画の調整等に不測の日時を要したことにより、繰り越したものです。

次に、486 頁、第 51 目「令和 5 年県単災害土木復旧費」は、

予算現額	3 億 6,690 万 2,000 円
支出済額	1 億 1,813 万 6,797 円
翌年度繰越額 繰越明許費	2 億 4,876 万 4,672 円
5 不用額	531 円

となっています。

支出済額は、県単事業として実施する公共土木施設の小規模な災害復旧に要した経費です。

なお、翌年度繰越しは、公共土木施設の復旧にあたり、施工計画の調整に不測の日
10 時を要したことにより、繰り越したものです。

次に、第 52 目「令和 6 年災害土木復旧費」は、

予算現額	5,000 万	円
不用額	5,000 万	円

15 となっています。

なお、不用額は、令和 6 年 1 月から 3 月までに発生した災害がなかったことによる
ものです。

20 以上で、一般会計の決算概要説明を終わります。次に、特別会計についてご説明
申し上げます。

【港湾整備事業特別会計の歳入の状況】

港湾整備事業特別会計についてご説明申し上げます。

歳入決算について、594 頁、歳入合計欄ですが、

5	予算現額	1 億 5,820 万 2,000 円
	調定額	1 億 6,036 万 4,599 円
	収入済額	1 億 6,028 万 1,631 円
	収入未済額	8 万 2,968 円

となっています。

10

まず、592 頁、第 1 款「使用料及び手数料」は、

	予算現額	6,681 万 9,000 円
	調定額	6,889 万 5,194 円
	収入済額	6,889 万 5,194 円

15 となっています。

これは、港湾施設の荷揚場等の使用料収入です。

次に、第 2 款「繰越金」は、

	予算現額	383 万 3,000 円
20	調定額	383 万 3,273 円
	収入済額	383 万 3,273 円

となっています。

これは、前年度からの繰越金です。

25

次に、第3款「諸収入」は、

予算現額	2,617万7,000円
調定額	2,626万3,132円
収入済額	2,618万164円
5 収入未済額	8万2,968円

となっています。

収入済額の主なものは、県債の元利償還に伴う関連市の負担金による収入です。

収入未済額は、港湾施設の荷揚場等使用料に係る過年度収入です。

10 次に、第9款「繰入金」は、

予算現額	6,137万3,000円
調定額	6,137万3,000円
収入済額	6,137万3,000円

となっています。

15 これは、一般会計からの繰入金です。

【港湾整備事業特別会計の歳出の状況】

次に、歳出決算について、596 頁、歳出合計欄ですが、

	予算現額	1 億 5,820 万 2,000 円
	支出済額	1 億 5,746 万 736 円
5	不用額	74 万 1,264 円

となっています。

まず、第1目「管理費」は、

	予算現額	1,860 万 9,000 円
10	支出済額	1,786 万 8,378 円
	不用額	74 万 622 円

となっています。

支出済額は、津ヨットハーバー及び津松阪港の港湾施設の維持管理等に要した経費です。

15 なお、不用額は、港湾施設維持管理経費の執行残です。

次に、第3目「公債費」は、

	予算現額	1 億 3,959 万 3,000 円
	支出済額	1 億 3,959 万 2,358 円
20	不用額	642 円

となっています。

支出済額は、県債の元利償還金です。

また、598 頁、実質収支に関する調書の歳入歳出差引額 282 万 895 円 につい
25 ては、全額翌年度へ繰り越しています。

以上で、特別会計の決算概要説明を終わります。

【資金不足比率の状況】

次に、報告第 22 号の「令和 5 年度決算に係る資金不足比率（特別会計分）について」の県土整備部関係についてご説明申し上げます。

- 5 当資金不足比率は、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」第 22 条第 1 項の規定に基づき、監査委員の審査に付した上で報告するものです。

先ほどご説明申し上げました決算の結果、港湾整備事業特別会計において、資金不足額は生じなかったため、比率は算定されませんでした。

- 10 以上をもちまして、県土整備部所管の歳入歳出決算及び報告事項についての概要説明を終わらせていただきます。

何とぞ、よろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます。